

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：

単位 2

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（大修館書店 新編論理国語

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使おうとしている。	論理的に考えることに加え、章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考えている。また、他者の考えと自分の考えを吟味したり検討したりすることを通して、自分で新しい考えを生み出そうとしている。さらに、状況や場面に応じた他者との関わりの中で、必要な事柄を正確に伝え、相手の意向を的確に捉えて解釈したり、効果的に表現したりしている。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、生涯にわたる読書習慣の基礎を築き、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	知の登山、知の水路 【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。			○	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	5
	「論理的な人」とはどういう人か 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○		○	○		1
	突然変異と進化の関係 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	ウサギの耳はなぜ長い？ 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	6
定期考査					○	○	○		1	
	米の種類と食文化 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6

2 学 期	対話の精神 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の關係をとらえようとしている。	○	○	○	6	
	定期考査				○					1	
	文化としての科学 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・主張と根拠の關係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の關係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	「考える葦」であり続ける 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	量の時代から質の時代へ 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の關係を的確にとらえる。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との關係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の關係をとらえようとしている。	○	○	○	6
定期考査					○					1	
3 学 期	紙の本はなくなる 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	情報化と紙の本のゆくえ 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○					1
合計										70	

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：( 東京書籍 国語表現、 東京書籍 国語表現 ワークブック )

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを使い分けている。	自分の考えが読み手に明確に伝わるように、表現や構成を工夫して書いたり話したりしている。また、様々な題材の小論文に取り組むことで、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
表現とは何か 【知識及び技能】 1)ウ、エ 【思考力、判断力、表現力等】 A1)ウ、エ、カ B1)ウ、カ	・「表現とは何か」について考える。 ・表現を体験する。	○	○	○	【知識・理解】 ・自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句量を増し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き言葉を豊かにすること。(1)-ウ ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(1)-エ 【思考・判断・表現】 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫すること。A(1)-ウ ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。A(1)-エ ・視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したしする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。A(1)-カ ・読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫すること。B(1)-ウ ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなど吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりすること。B(1)-カ	○	○	○	10
分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】 1)イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 A1)ア、ウ、エ B1)カ	・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて分かりやすく伝える方法を身につける。 ・学習を通して得られた「分かりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。	○	○	○	【知識・理解】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝えある目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(1)-イ ・自分の思いや表現を多様に表現するために必要な語句の力を増し、話しや文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにすること。(1)-ウ 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、実社会の問題や自分にかかわる事柄の中から話題を決め、他者との多少な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。A(1)-ア ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫すること A(1)-ウ ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。A(1)-エ ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなど吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりすること。B(1)-カ	○	○	○	14



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代文演習標準α

教科：国語 科目：現代文演習標準α 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：（三訂版 学習のポイントが見えるよむナビ1現代文（いづな書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代文演習標準α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使おうとしている。	論理的に考えることに加え、章や資料を対象化し、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考えている。また、他者の考えと自分の考えを吟味したり検討したりすることを通して、自分で新しい考えを生み出そうとしている。さらに、状況や場面に応じた他者との関わりの中で、必要な事柄を正確に伝え、相手の意向を的確に捉えて解釈したり、効果的に表現したりしている。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、生涯にわたる読書習慣の基礎を築き、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学期	問題1～10 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。	○	○	○	○	○	○	21
	定期考査					○	○		1
2 学期	問題8～19 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。	○	○	○	○	○	○	25
	定期考査					○	○		1
3 学期	問題20～25 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。	○	○	○	○	○	○	21
	定期考査					○	○		1
									合計
									70



年間授業計画 様式

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ F 組  
 教科担当者:  
 使用教科書: (新編古典探究 東京書籍 みるみる覚える古文単語300+300いずな書店)

教科 国語 の目標:  
**【知識及び技能】** 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
<b>【知識及び技能】</b>	<b>【思考力、判断力、表現力等】</b>
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		語 彙	読 書					
宇治拾遺物語 【小野篁、広平のこころ】 【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、オ	【小野篁、広平のこころ】 1帝の宴への疑いの原因と、その疑いを晴らしたものが、ともに篁の字にあることを理解する。(手引き1) 2言葉遊びのおもしろさがどこにあるかを読み取る。(手引き2) 3「帝はほほ笑まを給ひて、事なくてやみにけり。」となつた理由を考える。(手引き3) □帝と篁のやりとりのおもしろさをまとめる。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のさまりや訓読のさまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの方、感じ方、考え方を読み取りまとめている。	○	○	○	4
十訓抄 【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、オ	1定額中納言の言動の内容を読み取る。(手引き1) 2小式部内侍のつた行動を読み取る。(手引き2) 3和歌文学、および和歌の技巧について理解する。 □登場人物の思いや状況、歌の工夫などを踏まえて、歌の良さを文章にまとめる。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のさまりや訓読のさまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで和歌を含んだ読話を読み取り、学習課題に	○	○	○	4
宇治拾遺物語 【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、エ、カ	1知っている説話を挙げ、特徴を確認する。 【空を飛ぶ倉】 1本文を音読する。 2絵巻の推定部分と対応させながら内容を理解する。(手引き1) 3話のおもしろさについて考える。(手引き2) □図書館やインターネットで、古典の説話等で法語が不認識な力を持ち発する語を検索する。 □各話について要約したり、特徴を表にまとめることができる。 □共通点等についてグループで話し合い、発表する。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のさまりや訓読のさまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで絵巻と本文とを関連付けて捉え、学習課題に	○	○	○	4
徒然草【丹波に出雲といふ所あり】 【九月二十日のころ】 【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、カ ○活読むこと②ア	【丹波に出雲といふ所あり】 1主語を確認しながら、話のあらすじを読み取る。 2強弱上人の言葉の変化に沿って、その心情を読み取る。(手引き1) 3この話のおもしろさは、どういふところにあるか説明する。(手引き2・3) 【九月二十日のころ】 1主語に注意しながら、話のあらすじを読み取る。(手引き1) 2人物の行動を整理する。(手引き1) 3作者の「その人」に対する評価をまとめる。(手引き2・3) 4縁の違いを捉え、その違いについて考えたことを話し合う。(言語活動)	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のさまりや訓読のさまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの方、感じ方、考え方を読み取りまとめている。	○	○	○	6
『徒然草』と『玉扇間』を読み比べる 【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)エ、カ、ク ○活読むこと②イ	1「花」や「月」における見解の違いを読み取りまとめる。(課題1) 2「恋」における見解の違いを読み取りまとめる。(課題2) ○随者文学としての『徒然草』の内容と文学的位置について理解する。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のさまりや訓読のさまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの方、感じ方、考え方を読み取りまとめている。	○	○	○	2

2 学 期	<p>小説一四編【純足】【断腸】</p> <p>【知技】(1)ア、イ/②ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、キ ○活読むこと②ア</p> <p>【知技】(1)ア、イ/②ア、エ 【思判表】読むこと(1)ウ、エ</p>	<p>【純足】</p> <p>1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き1) 3「為ス二蛇ノ足ヲ者」が酒を失った理由を考える。 4「純足」などの故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2)</p> <p>【断腸】</p> <p>1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3桓公が「狼ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。(手引き1) 4「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2)</p> <p>【知音】</p> <p>1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3伯牙と鍾子期の関係を読み取る。(手引き1) 4「知音」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2)</p> <p>【異端頭】</p> <p>1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き1) 3「窮書生」が饅頭を食べるために考えた計略について確認する。(手引き2) 4この話のおもしろさがどのような点にあるのか話し合う。(手引き3)</p> <p>□本単元の教材をもとにして生まれた故事成語や落語などについて知り、日本におけるさまざまな漢文受容について考える。(手引き3)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時代の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に鑑み、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を磨き、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>【主】進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	○	10
	<p>清詩一首</p> <p>【知技】(1)ア、イ、エ/②ア、エ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、エ、カ</p>	<p>【宿徳江】【勸酒】【静夜思】</p> <p>1それぞれの作者について理解する。 2詩を声に出して読む。(手引き1) 3それぞれの詩の内容を捉える。 4唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。(手引き3) 5正確な現代語訳をする。 6繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。(手引き1) 7訳詩を試みる。</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>【思判表】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>【主】進んでさまざまな俳詩を読み味わい、学習課題に沿って</li> </ul>	○	○	○	○	○	6
	<p>方丈記</p> <p>【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、カ</p>	<p>□『方丈記』の内容と作者、時代背景についてまとめる。</p> <p>【ゆく河の流れ】</p> <p>1全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。 2「人」と「種」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。(手引き1) 3「無常を争ふさま」とはどのようなことを指すか、【方丈記】で描かれる「無常観」について考える。(手引き2)</p> <p>□作品の現代的意義について考える。</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>【思判表】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>【主】進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」に</li> </ul>	○	○	○	○	○	8
<p>竹取物語</p> <p>【知技】(1)ア、イ、ウ、エ/②ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、エ、カ</p>	<p>□昔話としての「かぐや姫」について発表する。 □作品全体についての解説を聞き、概略を理解する。 □「なすののかぐや姫」を音読し、古文のリズムを味わう。また、大まかな内容を理解する。 □かぐや姫の誕生についてどのように描かれているか確認し、作品の伝奇的特質について話し合う。 □伝奇的特質に注目して、昔話などの話型を確認する。</p> <p>【天の羽衣】</p> <p>1全文を通読し、概略を捉える。 2かぐや姫の言動に注目し、その人物像について考える。(手引き1) 3「天の羽衣」は、かぐや姫にどのような変化をもたらしたか、考える。(手引き2) 4古文の巻1「羽衣伝説」を読み、知識を広げる。</p> <p>【富士の山】</p> <p>1全文を通読し、概略を捉える。 2巻の心情と行状について考える。(手引き1) 3「富士の山」の名前のいわれについて、本文の内容をまとめる。(手引き2)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>【思判表】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>【主】進んで竹取物語の内容を叙述に即して読み取り、学習課題に沿って物語に表れた人々の思いを捉えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	○	8	



高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 ○諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数
A 歴史の扉 【知識及び技能】 身近な題材の歴史の事象が空間的・階層的につながっていることを理解できる。 歴史資料の基本的な読み方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料や図版から適切に情報を読み取って考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から読み取ったことに対してさらに疑問点をもち、追及しようとしている。より深い学びに自主的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	4
B 近代化と私たち 【知識及び技能】 近代化の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化の歴史に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学期

<p>B 近代化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 近代化の歴史に関する諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代化の歴史に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代化の歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 小テストや定期考査の素点</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>C 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 小テストや定期考査の素点</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2 学 期</p> <p>C 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 小テストや定期考査の素点</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど</p>	○	○	○	8



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 高等学校 公共 （帝国書院） ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題について考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。諸資料から、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	先哲の思想や政治・経済に関する基礎的な知識を踏まえ、その価値やあり方について自分なりの評価を行う。事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	現代の諸課題を中心とした社会的事象に関心をもち、社会の抱える課題を主体的に解決しようとする態度を養う。現代社会を生きる人間として、主体的に社会に参画する在り方・生き方について自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A “私”とは何か—青年期 【知識及び技能】 青年期に関する基本的な知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の知識を活用し、自分自身を客観的にとらえられるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 自らを認め、自らと異なる他者を認め、よりよい社会の実現のために主体的に関係性を構築する意識を持つようにする	・指導事項 青年期の特徴、青年期の発生、悩みと欲求 ・教材 教科書、「20の私」（作成プリント） ・一人1台端末の活用 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 自らを客観的にとらえて気が付いたことや、青年期の特徴を自らに当てはめて自己を分析した結果などを、文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入する	○	○	○	4
	B 人はどう生きるのか—ギリシャ哲学 【知識及び技能】 ギリシャ哲学に関する基本的な知識を身に付け、古代ギリシャで良しとされた人の生き方についての理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 “善く生きる”ことについて現代に置き換えて考察し、自らの考える“善い生き方”を見定め、議論できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見を否定せず聞き入れ、自らを振りかえる機会とすることができる姿勢を育む	・指導事項 ソクラテス、プラトン、アリストテレス ・教材 教科書、作成プリント ・一人1台端末の活用 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 先哲の思想を前提に「自らはどう思うか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入する	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 人とはどういうものか—異なる考えとどのように共生していくか 【知識及び技能】 諸子百家の思想と三大宗教について基本的な知識を身に付け、異なる主張、思想に基づく人間観について理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 様々な思想に基づく人間観について自分なりに評価を下し、それらに基づいて自らの考える“人のあるべきあり方”を考察し議論できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な異なる考えを受け止め、共存する在り方を考察する姿勢を育む	・指導事項 諸子百家の思想、三大宗教（キリスト・仏教・イスラム） ・教材 教科書、作成プリント ・一人1台端末の活用 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各思想や世界観をもとに「人はどのようにあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入する グループでの議論に参加している	○	○	○	7
D 人としての正しさとは何か—近代西洋思想 【知識及び技能】 近代西洋思想について経験論と合理論の違いを軸にとらえ、社会に生きる人間としてどのようなあり方が正しいと考察されてきたのか、理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 異なる正義の基準について思索を深め、自分の思う“人としての正しさ”を考察し、議論できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 状況によって異なる正しさの矛盾を受け止め、どう乗り越えていくべきかを考察する姿勢を育む	・指導事項 経験論、合理論、死について 【議論】（血清の思考問題、輸血拒否問題） ・教材 教科書、作成プリント ・一人1台端末の活用 等 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各思想をもとに「人としての正しさはどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入する グループでの議論に参加している	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	E 社会の中で我々はどう生きていくのか—近代社会の構造 【知識及び技能】 近代立憲主義について基本的な知識を獲得し、現在の民主主義社会がどのように構成されてきたのか理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 異なる三者の社会契約論について思索を深め、自らが考える”近代社会のあるべき姿”を考察し、議論できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 近代民主主義の在り方のメリット、デメリットを理解した上で民主主義のこれからの在り方を考察する姿勢を育む	・指導事項 近代立憲主義の原理、社会契約論 ・教材 教科書、作成プリント 一人1台端末の活用 等 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各思想をもとに「これからの民主主義はどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入するグループでの議論に参加している	○	○	○	2
	F 社会の中で我々はどう生きていくのか—日本の政治制度について 【知識及び技能】 日本国憲法や日本の政治体制、選挙制度について基本的な知識を獲得し、社会参加をしていく方法やその是非について理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治の在り方について思索を深め、これからの日本の政治制度や社会がどうあるべきかを考察し、議論できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 日本の政治の在り方についてあるべきあり方を自分なりに結論を出し、社会参画について主体的に考える姿勢を育む	・指導事項 日本国憲法、憲法で保障されている権利、日本の政治体制、日本の選挙制度 【議論】憲法改正について（9条他） ・教材 教科書、作成プリント 一人1台端末の活用 等 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各法・制度をもとに「これからの日本社会はどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入するグループでの議論に参加している	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	G 社会の中で我々はどう生きていくのか—日本の法制度について 【知識及び技能】 日本の刑法・民法を中心に司法制度、消費者保護や契約等について基礎知識を獲得し、人が人を裁くこと、有罪・無罪について理解を図る 【思考力、判断力、表現力等】 日本の司法制度の在り方について思索を深め、これからの日本の法制度や社会がどうあるべきかを考察し、議論できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 日本の法の在り方についてあるべきあり方を自分なりに結論を出し、社会参画について主体的に考える姿勢を育む	・指導事項 日本の司法制度、社会規範と法、消費者の権利、契約について 【議論】 ・罪について考えよう（裁判員制度について：昔話法廷） ・同性婚について考えよう（期末テーマ） ・教材 教科書、作成プリント 一人1台端末の活用 等 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各法・制度をもとに「これからの日本社会はどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入するグループでの議論に参加している	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
H 社会の中で我々はどう生きていくのか—日本の経済について 【知識及び技能】 市場経済について基礎的な知識を獲得し、資本主義社会における企業や財政の役割、課題について理解を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済の在り方について思索を深め、これからの日本の政治と経済の関係はどうあるべきか、どう改善されるべきかを考察し、議論できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の経済の在り方についてあるべきあり方を自分なりに結論を出し、社会参画について主体的に考える姿勢を育む	・指導事項 市場経済の仕組み、金融の役割、租税の役割、社会保障、日本の財政の課題 【議論】消費税は増税すべきか、減税すべきか（税の在り方について） ・教材 教科書、作成プリント 一人1台端末の活用 等 授業の振り返りの作成	【知識・技能】 小テストや定期考査での得点 【思考・判断・表現】 各制度をもとに「これからの日本経済はどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入するグループでの議論に参加している	○	○	○	9	

3 学 期	<p>I “私”はどう生きるか—理想的な生き方とは何か</p> <p>【知識及び技能】 自らの人生設計を考えるを通して、社会における自らの在り方生き方を考察し、判断できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自らの在り方生き方について一年の振り返りを通して考察し、まとめられるようにする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これからの社会を生きていく上での自らの在り方生き方を自分なりに考え、社会参画について主体的に考える姿勢を育む</p>	<p>・指導事項 一年の振り返り</p> <p>・教材 教科書、作成プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業の振り返り、まとめの作成</p>	<p>【知識・技能】 小テストや定期考査での得点</p> <p>【思考・判断・表現】 今までの学習をもとに「自らはどうあるべきか」を考え、自分なりの結論を出して文章や言葉で表現する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノートに疑問点や思考点を記入する まとめを作成する</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科

地理歴史科 科目 世界の歩き方

教科： 地理歴史科

科目： 世界の歩き方

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国書院） / 標準高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

科目 世界の歩き方

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理の基礎的知識を身に付け、外国における生活文化の多様性を理解することができる。	地理的知識をもとに、身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することが出来るようにする。	人類が直面している世界的な課題について、主体的に調査して自らの考えを構築する姿勢を身に付けていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	アメリカ合衆国 【知識及び技能】 工業の発達と地理的な関係や、生活・文化については、地形や気候との関わりを身に着けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムを活用して、地域を多面的に捉えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報を用いて、よりよい社会の実現を主体的に追究する姿勢を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 地球上における様々な課題に対して、生徒が主体的な考えをもち、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	5
	南アメリカ 【知識及び技能】 南アメリカの生活・文化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の立場などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 日本から見た世界各国の位置や、世界から見た日本の立場などについて、考察し文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	6
	オセアニア 【知識及び技能】 オセアニアの生活・文化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、世界的な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 世界各国の多様な文化を理解し、異なる生活様式を創り出す地形について、また地形の違いによる世界的課題について考察し、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化に関する資料を自らファイリングする。	○	○	○	11



高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科: 数学

科目: 数学Ⅱ

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者:

使用教科書: ( 新編 数学Ⅱ (数研出版) )

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を調査・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、図数関係に着目し、事象を数学的に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	式と証明 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解させる。	・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式のわり算 ・分数式とその計算	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	11
	三角関数 ・角の概念を一般角まで拡張することにより、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにさせる。	・角の拡張 ・三角関数 ・三角関数のグラフ	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	11
	定期考查			○	○	○	1
	式と証明 ・数の範囲や式の性質に着目することにより、等式や不等式が成り立つことが証明できるようにさせる。	・恒等式 ・等式の証明 ・不等式の証明	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	12
	三角関数 ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにさせる。	・三角関数の性質 ・三角関数を含む方程式、不等式 ・加法定理 ・加法定理の応用	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	12
定期考查			○	○	○	1	
2 学期	複素数と方程式 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにさせる。 ・剰余の定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことができるようにさせる。	・複素数とその計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係 ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	13
	指数関数と対数関数 ・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにさせる。	・指数の拡張 ・指数関数 ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	13
	定期考查			○	○	○	1
	図形と方程式 ・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現する。また、その有用性を認識させ、事象の考察に活用できるようにさせる。	・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式 ・2直線の関係	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	14

	微分法と積分法 ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにさせる。 ・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにさせる。	・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	14
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	図形と方程式 ・円の性質や関係について、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・不等式を満たす点の集合が、座標平面上の領域を表すことを理解するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにさせる。	・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
	微分法と積分法 ・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにさせる。	・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
							合計 140

56

36

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（新編 数学B（数研出版））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて知識を深め、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学科し、問題の解決をしたり、解決の課程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	等差数列と等比数列 ・数列やその一般項の表し方について理解する。数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。	・数列と一般項	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○			4
	等差数列と等比数列 ・等差数列の公差、一般項について理解している。初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。	・等差数列 ・等差数列の和	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○		○	4
	等差数列と等比数列 ・等比数列の公比、一般項について理解する。初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和を求めることができる。	・等比数列 ・等比数列の和	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○			4
	定期考查			○	○	○	1
	いろいろな数列 ・Σの意味と性質を理解して、数列の和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。	・和の記号Σ ・階差数列	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	5
	漸化式と数学的帰納法 ・和の求め方を工夫して、数列の和が求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。	・いろいろな数列の和 ・漸化式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期考查			○	○	○	1
確率分布 ・確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 ・確率変数の確率分布を求めることができる。	・確率変数と確率分布	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○		○	4	
確率分布 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。	・確率変数の期待値と分散	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○		○	5	





高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物探究

教科：理科 科目：生物探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：第一学習社 高等学校 新生物基礎

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基礎的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い課題解決能力を養うとともに、情報を適切に取捨選択する判断力を養う。	生物や生物現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○一部の生物のみにみられる共通点から、進化と多様性について理解する。また、酵素の実験を通して、代謝が体内で起こる化学反応であることを理解する。	・様々な生物を比較し、用語の理解、生物の共通性と起源の関連付けを抽出する。 ・観察、実験をもとに生命活動が化学反応で成り立っていることを気づかせる。	【知識・技能】 ・生物基礎の既習事項と関連付けて実験、観察を行い、結果や現象から考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・調査に用いる情報の適切な取捨選択を行うことができるようになるとともに、レポートや新聞作成において図や表を用いて効果的な表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】				7
	○DNAの発見から遺伝子応用技術までの歴史について探究し理解する。	・一人1台端末によってDNA発見の歴史と遺伝子応用技術についてインターネットを用いて調査し、レポートにまとめる。	【知識・技能】 ・生物基礎の既習事項と関連付けて実験、観察を行い、結果や現象から考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・調査に用いる情報の適切な取捨選択を行うことができるようになるとともに、レポートや新聞作成において図や表を用いて効果的な表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	○腎臓や肝臓の働きについて理解する。また、体内で働く様々なホルモンについて探究活動を通して理解する。	・腎臓や肝臓の3Dモデルを用いて働きや構造について具体的なイメージを持ちながら学習する。	【知識・技能】 ・生物基礎の学習で生じた課題や疑問点を明らかにし、その解決に向けた取り組みを考えることができる。 ・学習した内容を日常生活と結びつけ、生命の尊重や環境の保全に寄与しようとしている。				8
2 学期	○医療技術の発展の歴史について理解する。また、生物基礎での既習事項と医療技術との関連について探究する。	・一人1台端末を活用して医療技術の発展と応用の例について調査し、調査結果を新聞でまとめ発表する。	【知識・技能】 ・生物基礎の既習事項と関連付けて実験、観察を行い、結果や現象から考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・調査に用いる情報の適切な取捨選択を行うことができるようになるとともに、レポートや新聞作成において図や表を用いて効果的な表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】				8
	○生態系の保全と環境問題との関係について探究し、生物多様性の重要性について理解する。	・生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けてレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 ・生物基礎の学習で生じた課題や疑問点を明らかにし、その解決に向けた取り組みを考えることができる。 ・学習した内容を日常生活と結びつけ、生命の尊重や環境の保全に寄与しようとしている。	○	○	○	8
	○生物の特徴を利用した科学技術である「バイオミメティクス」の概要と利用例について理解し生物が人間の生活の発展に寄与していることを理解する。	・ヤモリの脚の微細構造やフナムシの吸水のしくみなど、具体的なバイオミメティクスの例について理解し、電子顕微鏡の応用と日常生活の発展を結びつけたレポートをまとめる。	【知識・技能】 ・電子顕微鏡のしくみやバイオミメティクスで扱われる生物の特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・特徴的なしくみを持った生物の構造について、それらがどのように科学技術に応用されるか、科学的な見方・考え方を働かせて思考することができる。 ・レポートや新聞作成において図や表を用いて効果的な表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習した内容を日常生活と結びつけ、生命の尊重や環境の保全に寄与しようとしている。	○	○	○	12
3 学期	○生命現象の疑問を課題として設定し、探究的に学んだ結果を論文形式のレポートにまとめる。また、パワーポイントを利用して探究結果を3分で口頭発表し、相互評価を行う。	・自身の生活から身近な生物現象の疑問を課題として設定し、一人1台端末を用いて探究する。 ・レポート作成に必要な知識とスキルを習得するために、評価基準に基づいて、適切なレポートを作成する力を身に付ける。	【知識・技能】 ・日常生活で生じた生命現象と関連した疑問について、適切な方法で調査、検証、考察などの探究活動を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・設定した課題を解決するための手立てを考えることができるとともに、調査結果から導き出された結果から考察することができる。 ・調査に用いる情報の適切な取捨選択を行うことができるようになるとともに、レポートや新聞作成において図や表を用いて効果的な表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習した内容を日常生活と結びつけ、生命の尊重や環境の保全に寄与しようとしている。	○	○	○	18

合計  
70

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの五つの領域の言語活動による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況において適切に活用できる技能を身に付ける。情報や考えなどを的確に理解したり、表現したりして、コミュニケーションを図る資質、能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの要点等を的確に理解したり、これらについて適切に伝え合ったりできる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 English Communication II の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解し、実際のコミュニケーションに活用できる技術を身に付ける	コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、適切な英語で表現することを通して、五つの領域を身に付ける	外国語による五つの領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位、授業規律等の理解</li> <li>・使用教科書の確認</li> <li>・中間考査の予定範囲、課題や授業の進め方について理解する</li> </ul>		○	○	○	1
単元：L.1 Places Worth Visiting 【知識及び技能】 a. 取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。 b. 取り上げられた語句を適切な文脈において使用する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（屋久島とカッパドキアでの体験）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。	【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか  定期考査 発表、課題 観察	○	○	○	6
単元：L.2 Iwago Mitsuaki: Animal Photographer 【知識及び技能】 a. 取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。 b. 取り上げられた語句を適切な文脈において使用する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（岩合氏のアフリカでの体験／ネコを撮影するコツ）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。	【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか  定期考査 発表、課題 観察	○	○	○	3
単元：L.3 The Haka	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。	【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか				

1 学期	<p>【知識及び技能】 a. 分詞に関する事項を理解している。</p> <p>b. 分詞の用法に関する理解をもとに、ハカについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。</p> <p>c. ハカや客をもてなすことなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、ハカや客をもてなすことなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、ハカや客をもてなすことなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。</p>	<p>握する。</p> <p>b. 本文の内容（ハカ）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>解しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	5
	中間考査			○	○		1

<p>単元：L.4 Digital Detox</p> <p>【知識及び技能】 a. if節・疑問詞節に関する事項を理解している。 b. if節・疑問詞節の用法に関する理解をもとに、デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックスについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. デジタル機器の使用やデジタルデトックスキャンプなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックスについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 本文の内容に関連して、デジタル機器の使用やデジタルデトックスキャンプなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックスについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 本文の内容に関連して、デジタル機器の使用やデジタルデトックスキャンプなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックス）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	7
<p>単元：L.5 Goal Setting</p> <p>【知識及び技能】 a. 取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。 b. 取り上げられた語句を適切な文脈において使用する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（効果的な目標設定の方法）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	5
<p>期末考査</p>			○	○		1
<p>単元：L.6 The High School Hair Salon</p> <p>【知識及び技能】 a. 助動詞+have+過去分詞に関する事項を理解している。 b. 助動詞+have+過去分詞の用法に関する理解をもとに、高校生美容室の活動内容や部員の思いについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 美容室や美容師として働くことなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。 b. 取り上げられた語句を適切な文脈において使用する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. 高校生美容室の活動内容や部員の思いについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 本文の内容に関連して、美容室や美容師として働くことなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. 高校生美容室の活動内容や部員の思いについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（高校生美容室の活動）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	
<p>2学期 単元：L.7 You Can Make a Difference</p> <p>【知識及び技能】 a. 過去完了形に関する事項を理解している。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容（パリのレジ袋撤廃運動）について、学習した語彙や言語材料</p>	<p>【知識及び技能】 新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた話題について自分の考えを表現することが</p>				

<p>b. 過去完了形の用法に関する理解をもとに、バリ島が抱えるプラスチックゴミの問題やメラティとイザベル姉妹によるBye Bye Plastic Bags計画について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。</p> <p>c. 自分の住んでいる町／環境に優しい製品／環境保護のボランティア計画などについて、学習した語彙や言語材料, TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. Bye Bye Plastic Bags計画について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、自分の住んでいる町／環境に優しい製品／環境保護のボランティア計画などについて、学習した語彙や言語材料, TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. Bye Bye Plastic Bags計画について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、自分の住んでいる町／環境に優しい製品／環境保護のボランティア計画などについて、学習した語彙や言語材料,</p>	<p>(文法事項)を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>できるか 【学びに向かう力、人間性等】課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>中間考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>単元：L.8 Nudge 【知識及び技能】 a. 関係代名詞 whatに関する事項を理解している。 b. 関係代名詞 whatの用法に関する理解をもとに、ナッジについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。</p> <p>c. ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料, TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. ナッジについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料, TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. ナッジについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料, TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 b. 本文の内容 (ナッジ) について、学習した語彙や言語材料 (文法事項) を用いて、自分の意見を話す／書く。</p>	<p>【知識及び技能】新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>単元：L.9 The Father of Braille Blocks 【知識及び技能】 a. 取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。 b. 取り上げられた語句を適切な文脈において使用する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 a. 扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 b. タイトルや扉の写真から推測される本文の内容について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>	<p>・英単語から日本語、日本語から英単語を暗記する初歩的な理解させる ・文に応じた時制、用法等を運用できる、さらに深い理解へと導く</p>	<p>【知識及び技能】新出語や本文の内容を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】与えられた話題について自分の考えを表現することができるか 【学びに向かう力、人間性等】課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>期末考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>

<p>単元：L10 Do We Need That?</p> <p>【知識及び技能】a. 使役動詞に関する事項を理解している。</p> <p>b. 使役動詞の用法に関する理解をもとに、日本のサービスに対する留学生の考えについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。</p> <p>c. 過剰包装／自動販売機／駅のアナウンスの必要性などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】a. 日本のサービスに対する留学生の考えについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、過剰包装／自動販売機／駅のアナウンスの必要性などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】a. 日本のサービスに対する留学生の考えについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、過剰包装／自動販売機／駅のアナウンスの必要性などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。</p> <p>b. 本文の内容（日本のサービスに対する留学生の考え）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。</p>	<p>【知識及び技能】新出語や本文の内容を理解しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】与えられた話題について自分の考えを表現することができるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	7
<p>単元：L11 The Vancouver Asahi</p> <p>【知識及び技能】a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。</p> <p>b. 本文の内容（日系カナダ人の野球チームバンクーバー朝日）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】a. 知覚動詞+O+動詞の原形／～ingに関する事項を理解している。</p> <p>b. 知覚動詞+O+動詞の原形／～ingの用法に関する理解をもとに、日系カナダ人の暮らしやバンクーバー朝日の結成～消滅について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。</p> <p>c. 海外に住むこと／好きなスポーツチーム／日系カナダ人と太平洋戦争などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身につけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】a. 日系カナダ人の野球チームバンクーバー朝日について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</p> <p>b. 本文の内容に関連して、海外に住むこと／好きなスポーツチーム／日系カナダ人と太平洋戦争などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。</p>	<p>a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。</p> <p>b. 本文の内容（日系カナダ人の野球チームバンクーバー朝日）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。</p>	<p>【知識及び技能】新出語や本文の内容を理解しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】与えられた話題について自分の考えを表現することができるか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】課題に取り組み、授業に積極的に参加しているか</p> <p>定期考査 発表、課題 観察</p>	○	○	○	7
<p>学年末考査</p>			○	○		1 合計 64

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 外国語 科目 必修選択 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 必修選択 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組 選択者

使用教科書： MY WAY Logic and Expression II )

教科 外国語

の目標：

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの五つの領域の言語活動による実際のコミュニケーションにおいて、  
【知識及び技能】 目的や場面、状況において適切に活用できる技能を身に着ける。  
情報や考えなどを的確に理解したり、表現したりして、コミュニケーションを図る資質、能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの要点等を的確に理解したり、これらについて適切に伝え合ったりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 必修選択 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の文法を理解する。	自ら考え、英語で表現できるようになる。	常に真剣に取り組む姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 1 現在完了形を学ぶ 過去完了形を学ぶ 未来を表す表現を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	5
	Lesson2 助動詞表現・助動詞+have+過去分詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	2
	定期考査		○				○		○	○		1
	Lesson 3 受動態・不定詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	5
	Lesson 4 不定詞・知覚動詞・使役動詞を学ぶ Lesson 5 動名詞・分詞構文を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	7
	定期考査		○				○		○	○		1
2 学 期	Lesson 6 比較を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	2
	Lesson 7 動名詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	7
	定期考査		○				○		○	○	1	
	Lesson 7 動名詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか	○	○	○	3

								【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか					
Lesson 8 最上級を学ぶ Lesson 9 関係詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できる ようにする。 ・教科書、プリント等							【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか					7
定期考査													
3 学 期	Lesson 9 関係詞を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できる ようにする。 ・教科書、プリント等						【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか					5
	Lesson 10 仮定法を学ぶ	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できる ようにする。 ・教科書、プリント等						【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか					7
	定期考査												1

合計 54



								【学びに向かう力、人間性等】 主体的・自律的に学習に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか					
	関係代名詞（２）	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 基本的な文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・自律的に学習に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○		7
	定期考査			○			○		○	○			
3 学 期	文型（１）	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 基本的な文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・自律的に学習に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○		5
	総合演習	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 基本的な文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・自律的に学習に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○		7
	定期考査			○			○		○	○			1

合計 54







淵江高等学校 令和8年度（2学年用） 教科：保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：（「現代高等保健体育（50 大修館 保体701）」）

使用教材：（なし）

教科 保健体育の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。  
 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。  
 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(知識) ・各種目の特性、技能、ルール、練習の仕方等を理解する。 ・自己に応じた目標の設定、課題解決のための練習方法を考え、試合や発表会等で表現できるようにする。 (技能) ・各種目の基本的な技能を身に付け、試合や発表会等で実践できるようにする。 ・目標の実現に向け、仲間と協力し、安全に配慮して、学習できるようにする。	・自己や仲間の課題を発見、理解し、目標を定め、その課題解決に向け練習の計画を立てることができるようにする。 ・安全に配慮して、効率よく練習が進められるよう、グループ内で役割分担し、協力できるようにする。 ・生涯にわたって運動が継続できるよう、自己や仲間の課題を発見し、その解決に向けての取り組み方を他者に伝えることができるようにする。	・各種目の特性、ルール、練習方法を理解し、主体的に取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習計画を見直すなど、互いに高め合うために協力できるようにする。 ・危険を予測し行動するなど、常に安全、健康を確保し行動できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知/技	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 体育理論 【知識及び技能】 体育の目標、スポーツの特性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	体育の目標 スポーツの文化的特性	【知識・技能】 体育の目標、スポーツの特性について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	2. 体づくり運動 【知識及び技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践する。自己の心身の状態や体力に応じて、計画を立て実生活で役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の目標に応じた運動を計画立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己の課題や今後の目標について他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及びクラスの課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	体ほぐしの運動 体力を高める運動 体育祭練習 体力テストの実施と振り返り	【知識・技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践している。 【思考・判断・表現】 自己及びクラスの課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	15
	3. 陸上競技（リレー） 【知識及び技能】 体育祭での競技実施に向け、競技のルールを理解し、自己及びクラス目標、練習計画の立案等、仲間と協力し練習できるようにする。バトンパスの技術、方法を理解し、記録向上に向け実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己やクラスの課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及びクラスの課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	短距離走 リレー	【知識・技能】 短距離走の技術、リレーのルール、バトンパスの効果的な方法等を理解、実践している。 【思考・判断・表現】 自己及びクラスの課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
	4. 水泳 【知識及び技能】 クロール、平泳ぎの基本的な技術を理解し、自己の目標を持つとともに、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。2つの泳法について、技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく水泳を実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	水泳 クロール・平泳ぎ	【知識・技能】 2つの泳法について、基本的な技術と練習方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
	5. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的な技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	【知識・技能】 各種目の基本的な技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	1. 水泳 【知識及び技能】 クロール、平泳ぎの基本的な技術を理解し、自己の目標をもつとともに、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。2つの泳法について、技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく水泳を実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	水泳 クロール・平泳ぎ	【知識・技能】 2つの泳法について、基本的な技術と練習方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	8
	2. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的な技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	【知識・技能】 各種目の基本的な技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	26

3 学 期	<p>9. バドミントン/ダンス</p> <p>【知識及び技能】 バドミントン、ダンスの基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己の課題をもち、段階的な練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基本動作や基本的な動きの習得、技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむ、自己の課題を他者に伝え、学習の成果を発表することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	バドミントン、ダンス	<p>【知識・技能】 バドミントン、ダンスの基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
	<p>1. 柔道、陸上競技（持久走）</p> <p>【知識及び技能】 柔道の基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己の課題をもち、段階的な練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。男子3km、女子2.4kmの記録測定に向け、自己の目標タイムを決め、仲間と協力し練習できるようにする。1周ごとの目標ラップ時間を設定し、徐々に距離を延ばし、記録向上に向け実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 柔道の基本動作や基本的な動きの習得、技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむ、自己の課題を他者に伝え、学習の成果を発表することができるようにする。</p> <p>持久走の記録向上に向け、1周ごとのラップタイムを設定する。ペアを作り相手のラップタイムを記録する中で協力して運動を楽しむことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び仲間の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。柔道ではルールやマナーを守り、持久走では体調管理に留意し、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	柔道／持久走	<p>【知識・技能】 柔道の基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。当日の走行距離に応じて目標タイムを設定するとともに、ペアと協力して互いの1周ごとのラップタイムを記録し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12	
	<p>2. 球技</p> <p>【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	<p>【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12	
<p>3. 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 オリンピックをはじめ現代スポーツの課題、スポーツ環境について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代スポーツの課題及び自身のかかわりについて、他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代スポーツと自身のかかわりについて認識し、目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。</p>	現代的なスポーツの発展	<p>【知識・技能】 オリンピックや現代スポーツの課題、スポーツを取り巻く環境について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3		
							合計	
							105	

東京都立高等学校 令和8年度（2学年用） 教科：保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：（「現代高等保健体育（50 大修館 保体701）」）

使用教材：（なし）

教科 保健体育の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。  
 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。  
 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。  
 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習内容について理解したことを発言したり記述したりしているとともに、日常生活で実践し行動できる。	自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	3. 生涯を通じる健康 【知識及び技能】各ライフステージにおける健康、性意識と性行動、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	ライフステージにおける健康 思春期と健康 性意識と性行動 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶	【知識・技能】 各ライフステージにおける健康、性意識と性行動、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	3. 生涯を通じる健康 【知識及び技能】結婚生活と健康、中高年期の健康、働くことの意義、職業、労働災害等について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	結婚生活と健康 中高年期の健康	【知識・技能】 結婚生活と健康、中高年期の健康、働くことの意義、職業、労働災害等を理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査	2学期の授業内容を基にしたテスト	【知識・技能】 2学期の授業内容について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを文章で伝える。	○	○		1
2 学期	3. 生涯を通じる健康 【知識及び技能】働くことの意義、職業、労働災害等について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	【知識・技能】 働くことの意義、職業、労働災害等を理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	4. 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】環境問題と健康との関わりとその対策、課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ゴミの処理と上下水道の整備	【知識・技能】 大気汚染、水質汚濁等の環境問題と健康との関わりとその対策、課題について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	4. 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】食品衛生に関する我が国における保健活動や社会的対策全般について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	【知識・技能】 食品衛生について我が国における保健活動や社会的対策全般について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査	2学期の授業内容を基にしたテスト	【知識・技能】 2学期の授業内容について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを文章で伝える。	○	○		1
3 学期	4. 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】保健・医療サービスに関する、我が国における保健活動や社会的対策全般について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	保健・医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 保健・医療サービスに関する、我が国における保健活動や社会的対策全般について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査	3学期の授業内容を基にしたテスト	【知識・技能】 3学期の授業内容について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを文章で伝える。				1 合計 35

科目 家庭基礎

教科：家庭科

科目：家庭基礎

単位数：2単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：（家庭基礎 自立・共生・創造／東京書籍）

生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。  
 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。  
 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実の向上を図るために実践しようとしている。				
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<b>単元 生涯を見通す</b> ・自立した生活を営むために、生涯発達の観点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	1 人生を展望する ①人は生涯を通して発達する ②青年期の課題 2 目標を持って生きる ①人は意思決定の連続 ②未来予想図を描く <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> 学習ノート	【知識・技能】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見いだすことができる。 【思考・判断・表現】 解決策を構想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしていることを、文章で表現できる。	○	○	○	2
	<b>単元 人生をつくる</b> ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	1 人生をつくる ①「人生100年」時代を生きる ②一人で暮らす ③パートナーと生きる ④子どもと暮らす・親を支える ⑤自分のライフスタイルを選ぶ 2 家族・家庭を見つめる ①家族・家庭をどう捉えるか ②社会の中の家族・家庭 ③家族と法律 3 これからの家庭生活と社会 ①家庭生活を担う <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> 学習ノート	【知識・技能】 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 ・家族・家庭と社会との関りについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	<b>単元 衣生活をつくる</b> ・被服を着用する社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身に付ける。 ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身に付けるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身に付けるために、被服の選択や保管方法を科学的に理解する。 ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。	1 被服の役割を考える ①着るとは ②被服の保健衛生的機能 ③被服の社会的機能 2 被服を入手する ①被服の入手 ②被服と表示 ③被服の材料 ④被服材料の性能 ⑤被服材料の性能の改善 3 被服を管理する ①被服の手入れ ②洗剤と漂白剤の働き ③仕上げ、保管 4 これからの衣生活 ①持続可能な衣生活②環境に配慮した衣生活 5 被服実習 エブロン <input type="checkbox"/> スマスク端末の活用 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> 学習ノート	【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 ・被服材料、被服構成、被服衛生について理解している。 ・被服の計画・管理について必要な技能を身に付けている。 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなど課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるような、安全で安心な生活と消費について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元 食生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> <li>・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立っているために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。</li> <li>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> <li>・健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを理解する。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。</li> <li>・配膳やマナーに関心を持つ。</li> <li>・日本の食文化の特徴を確認する。</li> <li>・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。</li> <li>・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。</li> </ul>	<p>1 食生活の課題について考える</p> <p>①青年期の食生活の課題 ②「食べる」とは ③食生活の課題 ④ 食生活の変化</p> <p>2 食事と栄養・食品</p> <p>①栄養と栄養素 ②炭水化物 ③脂質 ④たんぱく質 ⑤無機質 ⑥ビタミン ⑦その他の食品</p> <p>3 食品の選択と安全 ①食品の選択 ②食品の保存と加工 ③食品の衛生と安全</p> <p>4 生涯の健康を見通した食事計画 ①栄養バランスの良い食事 ②食事計画</p> <p>5 調理の基礎 ①調理法や味付けのバランス ②食事の場面を考えた調理</p> <p>6 食生活の文化と知恵 ①日本の食文化 ②世界の食文化</p> <p>7 これからの食生活 ①食糧生産と食糧問題 ②食の安全性の確保 ③食をめぐる問題とその対策 ④持続可能な食生活を営む力</p> <p><input type="checkbox"/> スマスク端末の活用 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> 調理実習 <input type="checkbox"/> コンテスト</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。</li> <li>・食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。</li> <li>・おいしさの構成要素について理解している。</li> <li>・目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身につけている。</li> <li>・食品の調理上の性質、食の安全について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身につけている。</li> <li>・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
	<p>単元 子どもと共に育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。</li> <li>・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。</li> <li>・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。</li> <li>・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。</li> </ul>	<p>1 命を育む</p> <p>①次世代の育成 ②青年期の責任 ③命の誕生</p> <p>2 こどもの育つ力を知る ①子どもの育つ力 ②生まれつき持っている能力 ③身体発達 ④心の発達 ⑤子どもと遊び ③ 子どもと関わる</p> <p>①子どもの発達と保育 ②子どもの生活と保育</p> <p>4 これからの保育環境 ①子育ての課題と子育て支援 ②地域や社会の関わり ③子どもの福祉と権利</p> <p><input type="checkbox"/> スマスク端末の活用 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> ワーク <input type="checkbox"/> 妊婦体験 <input type="checkbox"/> 保育人形</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。</li> <li>・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。</li> <li>・親の役割と保育について理解している。</li> <li>・子どもを取り巻く社会環境について理解している。</li> <li>・子育て支援について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	16
	<p>単元 超高齢社会を共に生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢社会の背景を理解する。</li> <li>・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。</li> <li>・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。</li> <li>・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。</li> <li>・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。</li> <li>・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。</li> </ul>	<p>1 超高齢・大衆長寿社会の到来</p> <p>①少子化・高齢化の進行 ②ライフステージとしての高齢期</p> <p>2 高齢期の心身の特徴 ①老化と成熟 ②高齢期の健康と自立</p> <p>3 これからの超高齢社会 ①高齢者の自立を支える</p> <p><input type="checkbox"/> スマスク端末の活用 <input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> ワーク <input type="checkbox"/> 車椅子体験</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。</li> <li>・高齢期の心身の特徴について理解している。</li> <li>・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。</li> </ul> <p>生活支援に関する基礎的な技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域社会及び社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
定期 考 査				○	○		1

<p>単元 住生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</li> <li>・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。</li> </ul>	<p>1 住生活の変遷と住居の機能</p> <p>①住居の機能と変化 ②平面図を理解する ③住居の計画</p> <p>2 安全で快適な住生活の計画</p> <p>①住居の防災 ②健康な住生活</p> <p><input type="checkbox"/> スマスク端末の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 視聴覚教材</p> <p><input type="checkbox"/> インテリアデザイン</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。</li> <li>・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。</li> <li>・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> <li>・住居と地域社会との関わりについて問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>単元 経済生活を営む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。</li> <li>・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。</li> <li>・消費者には権利と責任があることを理解する。</li> <li>・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。</li> <li>・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。</li> <li>・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実現しようとする。</li> </ul>	<p>1 情報の収集・比較と意思決定</p> <p>①消費生活と意思決定</p> <p>2 購入・支払いのルールと方法</p> <p>①購入と契約</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>①消費者の権利を生かす</p> <p>4 生涯の経済生活を見通す</p> <p>①安定した経済生活を営む ②家計をマネジメントする ③家計資産のマネジメント</p> <p><input type="checkbox"/> スマスク端末の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 視聴覚教材 <input type="checkbox"/> ワーク</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。</li> <li>・生活情報を適切に収集・整理できる。</li> <li>・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。</li> <li>・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。</li> <li>・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。</li> <li>・家計の構造について理解している。</li> <li>・家計管理について理解している。</li> <li>・生活における経済と社会との関りについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> <li>・責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> <li>・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画において、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
3 学期						合計
						70

の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとと  
的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。  
的な態度を養う。





## 令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1単位時間の時間(50)分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	第11章 支え合う社会	①課題設定(1時間) この科目のねらい ②情報の収集 (体験活動3時間) 様々な防災活動の体験 ③整理・分析(1時間) 自分にできることの考察 ④まとめ・表現(1時間) 自分にできることの発表	○ 自己と社会の繋がりを認識して、高校生活ですべきことを理解できたか。	6(3)
	5				
	6	第2章 学ぶことの意義	①課題設定 ②情報の収集(2時間) 学力テストの実施 ③整理・分析(1時間) 学習状況の課題と対策について ④まとめ・表現(1時間) 学ぶことの意義を考える	○ 自己の適性・現状・課題を把握できたか。	4
	7	自己実現のための進路研究	①課題設定(2時間) 自分が関心を持っている分野は何か		2
2	9		②情報の収集(1時間) 学ぶべき教科・科目について ③整理・分析 ④まとめ・表現(1時間) 自己実現のための科目選択	○ 自分の将来について真剣に考えられたか。	2
	10				
	11 12	第4章 役割と責任を考える	①課題設定 (3時間 うち体験活動2時間) 地域清掃活動(体験活動2時間) ボランティアの意義とやり方について ②情報の収集(体験活動8時間) 足立フレンドリーマラソンの支援 ③整理・分析(1時間) ④まとめ・表現(1時間) 自分が果たすべき役割は何か	○ 奉仕活動の意義に関心をもったか。 ○ 体験活動をふまえて、奉仕活動について自ら考えたか。 ○ 奉仕活動を適切に理解し、適切な表現で発表できたか。 他者の発表を聴くことで、考えを共有できたか。	13(10)
3	1	第1章 人間関係を築く	①課題設定(1時間) 他人の何を知りたいか、自分の何を知ってほしいか ②情報の収集(2時間) ワークショップ ③整理・分析 ④まとめ・表現(1時間) 自己を肯定する大切さについて 他者を尊重する大切さについて	○ 他者と誠実に、前向きに話し合えたか。 ○ 奉仕活動への考え方がどう変化したか。また具体的に行動できたか。	4
	2				
	3	第3章 働くことの意義	①課題設定(1時間) 企業が欲する人材と自分の長所や能力 ②情報の収集(1時間) 足立区就労支援課と連携したワークショップ 労働に関する法律について ③整理・分析 様々な働き方とやりがいについて ④まとめ・表現(1時間) 1年間の活動を通して、自己の考え方や行動の変化について振り返る		4
配当時間数の合計					35(13) ※( )内は体験学習で内数

## 令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

## 1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	6	ガイダンス 概要説明	探究活動の概要説明 テーマの例示 具体的な探究方法の例示	・概要が理解できたか。 ・自分の探究についてイメージできたか。	5
	7	テーマ設定	テーマ・目標の確認 テーマの発表 探究方法へのアドバイス	・テーマを設定できたか。 ・他人のテーマを聞いて自己のテーマを検証できたか。	6
2	10	テーマの個別指導	個別指導の開始 テーマについての助言	・テーマについて、再考することができたか。	6
	12	調査方法の個別指導	個別面談により進捗状況の確認 調査方法の助言 グループ内で中間発表	・調査方法について再検討することができたか。 ・発表を通して、自己の探究について再検討することができたか。	6
3	2	改善点の個別指導	探究方法の改善点や新しい課題などの設定	・相互評価を経て、新しい視点を持ち、探究活動を深めることができたか。	6
	3	報告書の提出	報告書の提出方法確認 報告書の個別指導	・様式にのっとり、報告書が提出できたか。	6
配当時間 数の合計					35

## 令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

## 1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	個人探究 (人と協働して課題を 解決する)	①整理・分析 (4時間) 情報を整理・分析する際の視点を決める 自分の考察を明示する 人の助言を求める 人に助言を与える	○集めた情報を整理 して、ある視点から 比べることができた か ○誰かの助言を得る ことができたか。また、 誰かに助言を与え ることができたか	1 2
	5				
	6	個人探究 (課題解決の過程をま とめ、発表する)	②まとめ・発表 (8時間) 仮説と調査と考察と結論を盛り込む 見やすい資料の作り方 発表する際の声や姿勢、振る舞いに関する 技術	○資料に仮説・調査・ 考察・結論が盛り込 まれているか ○資料の見やすさ ○発表する際の声や 姿勢・振る舞い	
	7				
2	9	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	③整理・分析 (15時間) 3年間の学習の成果を振り返る 自分の現状を把握する 今後の学習目標を立てる 上級学校模擬授業体験	○自分の現状を把握 できたか ○今後の学習目標 を立てることができ たか ○進学後のことま で、深く考えること ができたか	1 5
	10				
	11 12				
3	1	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	④まとめ・表現 (8時間) 今、考えるべきこと 今、行動すべきこと お互いの長所や努力していることを指 摘し合うワークショップ 卒業生講演会を見て、自分はどうなりた いと思ったか 卒業を目前に控えて今後すべきこと	○自分の行動すべ きことを把握でき たか ○具体的な行動に 移すことができたか ○自己の長所など を説明できるだけの 材料を把握できたか ○学ぶべき点など 自分の今後に活かせ る点を把握できたか ○今後の具体的な 行動に対して見通し をもてたか	8
	2				
	3				
配当時間 数の合計					3 5